

要約

繊維強化プラスチック（FRP）施工時に揮散する有害なスチレンほか有機溶剤16物質を除去・低減する装置を開発しました。

研究成果の概要

1 背景・目的

スチレンは、バルコニーの床材や燃料タンクの漏洩防止材などに使われる繊維強化プラスチック（FRP）に含まれる揮発性有害物質です。特に、地下燃料タンクへのFRP施工時はスチレン濃度が高く、作業員の暴露による健康被害が危惧されています。

そこで、安全・安心な作業環境を提供することを目的に、地下燃料タンクのFRP施工現場の揮散スチレンを効率的に除去する技術の開発に取り組みました。

2 内容

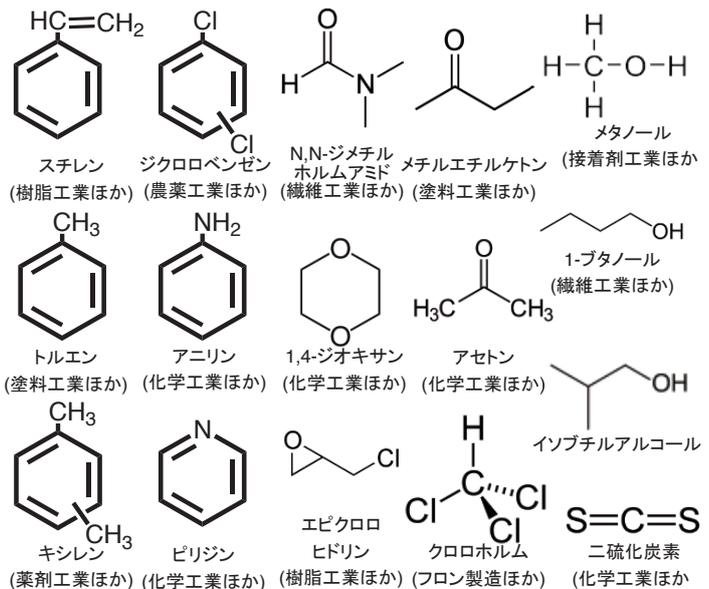
- 安価な天然ゼオライトを原料とするスチレン低減剤を開発しました。
- 開発した低減剤が他の揮発性有害15物質とガソリンにも効果があることを確認しました。
- 開発した低減剤を効率的に使用できる装置を開発しました。

3 活用等

- 県内の共同研究企業が製品化に向けた取り組みを進めています。
- 成果発表会や開放特許情報提供誌などで情報発信を行い、開発した技術の普及と利用を図っています。



開発した低減剤と除去・低減装置



開発した低減剤により低減される毒性揮発性物質

関連情報

- スチレン低減剤は、施工不良や作業効率の低下を招く水蒸気も同時に除去・低減します。
- 特許出願：有機化合物と水蒸気の高減剤（特開2018-58062）

工業総合研究所 技術支援部

Tel. 017-728-0900

E-mail kou_souken@aomori-itc.or.jp



青森産技

あomorの未来
技術でサポート